

「第3期松山市子ども・子育て
支援事業計画」の
令和7年度実施状況について
(地域子育て部会)

～②松山市こども計画(別冊)第2章
第3期松山市子ども・子育て支援事業計画
点検・評価シート～

令和8年8月10日

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

1 事業等名							
2 事業概要							
3 事業費	当該年度決算額						千円
4. 「量の見込みと確保方策」の計画値と実績							
【市内全体】							単位:
計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み						
	②確保の内容						
	②-①						
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 平成6年度 実績
	実績値 (達成率)						
実績評価							

<実績評価基準>
 量の確保の実績の達成率により評価
 5…達成率110%以上
 4…達成率100%以上110%未満
 3…達成率80%以上100%未満
 2…達成率50%以上80%未満
 1…達成率30%以上50%未満
 0…達成率30%未満

4. 「量の見込みと確保方策」の実績について特筆すべき事項や数値化しにくい取組みの効果、量の確保方策以外の実績、利用者の声、事業の課題等を記載

6. 事業評価と今後の見込

4. 「量の見込みと確保方策」の実績も含めた事業全体の評価と今後の方向性等を記載。

<自己評価、委員評価基準>
 量の確保の実績と事業の質の充実度を総合的に判断して数値評価を行う。
 5…顕著な成果がみられ、量の確保も十分達成できている
 4…高い水準で事業が実施され、相当の成果が認められる
 3…計画通り事業が実施され、事業目的達成に向けて成果が上がっている
 2…一定の成果はみられるものの、さらなる取組が求められる
 1…成果が乏しく、改善を要する
 0…事業が未実施、または計画見直しや実施体制の再構築が必要

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価					
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

子育て支援課

1 事業等名	子育て短期支援事業(ショートステイ、トワイライトステイ事業)
2 事業概要	保護者の病気、疲労等により家庭で養育することが一時的に困難になった児童を保護します。また、夫等の暴力から一時的に逃れるためや経済的な理由により緊急一時的に保護が必要になった母子の保護を行います。今後も子ども・子育てサイト等で周知に努め、利用を促進します。
3 事業費	当該年度決算額 6,652 千円

4.「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:人日(年間利用延べ人数)

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	623	607	593	580	569	
	②確保の内容	623	607	593	580	569	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	1,090 (175.0%)					735
	実績評価	5					

5. 事業の取組状況

・児童福祉法第6条の3第3項の規定に基づき、本事業を児童養護施設等に委託し実施していますが、法律の改正により、令和3年4月1日から里親等に児童を直接委託して実施することも可能となりました。これを受け、本市でも令和3年度中に里親の活用の準備を行い、令和4年4月から里親へ委託を開始しました。また令和6年8月に市内2箇所に里親支援センターが設置されたことを受け、令和7年度からは里親個人への委託から、里親支援センターへの委託に変更し、事業を実施しています。

6. 事業評価と今後の見込

・令和4年度から委託先に里親が加わったため、感染症の影響で施設での受入が困難となった場合等も、柔軟な対応ができるようになりました。また、令和7年度から里親個人との委託から、里親支援センターへの委託に変更したことで、里親支援センターが送迎や受入れの調整などを担うようになり、里親個人の負担が減り、登録里親数も増加しています。
・保護者の育児疲れやリフレッシュ等精神面の軽減を求めた理由での利用が増えており、実績が大幅に増加しています。里親支援センターへの委託に変更したことで、登録里親数が15世帯と増加し、受入先が広がったことも一因です。利用者からのニーズの増加とともに受入先の確保も課題となりますが、今後も引き続き実績が増加傾向となれば、令和9年度に計画の目標数値の見直しを検討する予定です。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	5				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

すくすく支援課

1 事業等名	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)
2 事業概要	生後4か月未満の乳児のいる家庭を保健師又は助産師、看護師が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育てに関する必要な相談支援や情報提供を行い、地域の中でこどもが健やかに育つよう支援します。
3 事業費	当該年度決算額 6,141 千円

4. 「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:件

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	2,659	2,609	2,561	2,517	2,477	
	②確保の内容	2,659	2,609	2,561	2,517	2,477	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	2,662 (100.1%)					2,856
	実績評価	4					

5. 事業の取組状況

・令和6年度から引き続き、乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)の一部を愛媛助産師会に委託し、すべての児に専門職が訪問しています。助産師が訪問した結果、支援が必要と思われる母子を把握した場合は、保健師に引継ぎ、訪問等の継続支援を行っています。また、必要に応じてこども相談課等の関係機関や医療機関等と連携しながら継続した支援を行っています。
・愛媛助産師会との定例業務連絡会(2回/年)を開催し、支援を充実するための情報共有を行いました。また、当事業に携わる助産師を講師に招いたスキルアップ研修会(1回/年)を開催し、保健師等の支援技術の向上を図りました。

6. 事業評価と今後の見込

専門職が育児に関する不安や悩みを傾聴し、専門的な助言、指導を行うことで、育児不安の軽減や母子の健康増進のための支援ができました。訪問の結果、支援が必要な家庭には、訪問等で継続支援を行いました。
引き続き乳児家庭への訪問を通じて育児状況を把握し、必要な支援につなげていきます。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	4				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

こども相談課

1 事業等名	養育支援訪問事業その他要支援児童、要保護児童等の支援に資する事業
2 事業概要	若年妊婦、未健診妊婦のほか、育児ストレス、産後に不安感や孤立感を抱えるなど、様々な理由で養育支援が必要な家庭を早期に発見し、養育に関する指導・助言等を行います。今後も継続して支援を行い、家庭での安定した児童の養育が可能となるように努めます。また、松山市要保護児童対策地域協議会では、学校や保育所、医療機関など様々な関係機関や団体と連携して、多様化、複雑化するこどもや家庭の問題に適切に対応します。
3 事業費	当該年度決算額 12,115 千円

4. 「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:人

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	3,550	3,580	3,620	3,650	3,690	
	②確保の内容	3,550	3,580	3,620	3,650	3,690	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	2,572 (72.5%)					3,450
	実績評価	2					

5. 事業の取組状況

・緊急性や支援の必要度の高い家庭に十分な時間を確保するため、虐待案件を除く要支援家庭について再アセスメントを行い、関係機関による見守り支援で対応可能と判断した世帯は、依頼時対応として終結しました。

・また、地域資源を積極的に活用して支援につながる機会を増やしたことで、養育支援訪問事業の件数は増加しました。

○令和7年度 養育支援訪問件数

訪問を実施した世帯数 733世帯 延べ訪問回数 4,564回(前年度2,654回)

○令和7年度 支援対象人数

児童数:2,440人 特定妊婦数:132人 合計:2,572人

6. 事業評価と今後の見込

・要対協ケースが計画で示した件数を下回った主な理由として、令和6年度に虐待案件を除く要支援家庭のうち、関係機関による見守り支援で対応可能と判断した世帯を終結したことによるものです。

・そのため、実績評価における達成率は低い結果となっていますが、家庭訪問件数は前年度を上回っています。これは、支援を必要とする家庭に対して、寄り添いながら継続的に伴走支援を行った結果であり、支援の充実につながっているものと捉えています。また、こうした支援の積み重ねは、児童虐待の未然防止にも寄与していると考えています。以上を踏まえ、本事業については、下記のとおり評価します。

・なお、量の見込みと実績との乖離が生じているため中間年度(令和9年度)に量の見込みの見直しを検討します。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	4				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

子育て支援課

1 事業等名	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)
2 事業概要	育児の「手助けをしてほしい人(依頼会員)」と「手助けのできる人(提供会員)」に会員登録していただき、会員間の相互援助活動の調整等を行います。周知活動により提供会員の確保に努め、利用料の助成により利用促進につなげます。また、安全な援助活動を行うための講習会や周知活動を通して、提供会員の知識や技能の向上につなげます。
3 事業費	当該年度決算額 15,023 千円

4.「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:人日(年間利用延べ人数)

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	2,208	2,134	2,074	2,010	1,947	
実績	②確保の内容	2,208	2,134	2,074	2,010	1,947	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	2,701 (122.3%)					2,365
実績評価		5					

5. 事業の取組状況

・当事業は、保育施設・児童クラブの送迎や、その後の預かり、病児・病後児の預かりなどを行っています。(公財)松山市男女共同参画推進財団に運営を委託しており、会員登録、依頼会員と提供会員とのマッチング、提供会員への講習等を行っています。

・令和7年度は、会員獲得のための情報発信を強化し、小・中学生の保護者が登録している「MACネットシステム」での周知活動などを行ったところ、依頼会員が増加しました。

【依頼会員数】R6年度末:775人 → R7年度末:897人(+122人)

・また、1カ月あたり2.5時間の利用料助成と、ひとり親(児童扶養手当受給)世帯、多胎児がいる世帯への助成の上乗せを継続して実施するとともに、令和7年度から会員向けの公式LINEで、サービスの情報や子育てイベントの情報発信を行い、利用促進につなげました。

6. 事業評価と今後の見込

・会員獲得に向けた情報発信や利用促進のための取組みが、計画や前年度を上回る実績につながりました。

・今後は、これらの取組みを継続することに加え、増加した依頼会員のニーズに対応するため、提供会員の獲得が必要であることから、提供会員となるための講習会への参加を促す周知活動を強化することで、受け皿を確保し、さらなる利用促進につなげます。

【年間延べ利用人数】R6年度:1,999人日 → R7年度:2,701人日

【会員数】R6年度末:1,196人(うち依頼会員:775人、提供会員:400人、両方会員:21人)

R7年度末:1,325人(うち依頼会員:897人、提供会員:408人、両方会員:20人)

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	4				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

すくすく支援課

1 事業等名	妊婦一般健康診査事業
2 事業概要	妊婦一般健康診査(一部公費負担)を行い、妊婦及び胎児の健康の保持増進を図ります。母子健康手帳交付時に、保健師等が全妊婦と面談し、受診勧奨を行います。
3 事業費	当該年度決算額 264,171 千円

4. 「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:人日

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	2,829	2,776	2,725	2,678	2,635	
	②確保の内容	2,829	2,776	2,725	2,678	2,635	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	2,748 (97.1%)					2,922
	実績評価	3					

5. 事業の取組状況

・妊婦一般健康診査は、県内20市町と愛媛県等で構成する愛媛県市町母子保健健康診査事業連絡会で、助成対象とする検査項目や回数及び助成金額等を協議し、県内に在住する妊婦が県内どここの医療機関等で受診しても同じ健診が受けられるよう、県下統一の内容で実施しています。

・平成27年度からは、国の示す妊婦健診についての望ましい基準に沿って妊婦健診を受けることができるよう公費助成しています。受診率は受診する検査項目や使用週数が決められているA券5回分の発行数を分母としており、令和7年度の受診率は96.7%(13,596件/14,059件)でした。

6. 事業評価と今後の見込

・妊娠届出時には、妊婦一般健康診査受診票を交付し、保健師が全妊婦に対し、妊婦健診の受診勧奨をすることで、妊婦の受診行動につながっています。

・妊婦健診は妊婦と胎児の異常を早期に発見し、保健指導を実施することで、正常な妊娠と分娩につなげることを目標としているため、適切な受診の必要性を継続的に啓発し、受診率の確保に努めます。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	3				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

こども相談課

1 事業等名	子育て世帯訪問支援事業
2 事業概要	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭に訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施します。
3 事業費	当該年度決算額 2,525 千円

4. 「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:人日

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	300	300	310	310	310	
	②確保の内容	300	300	310	310	310	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	517 (172.3%)					
	実績評価	5					

5. 事業の取組状況

・積極的な家庭支援を働きかけたことで、前年度に比べてサービス利用世帯が増加しました。

○令和7年度 育児・家事援助サービス実施世帯数
世帯数 27世帯(前年度 24世帯)

6. 事業評価と今後の見込

・不安や負担を抱える子育て家庭への継続的な訪問支援により信頼関係を築き、相談しやすい環境を整えることで、虐待の未然防止や早期発見、早期対応につながっています。
・今後も、適切なアセスメントにより個々に応じた支援を行なっていきます。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	5				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

こども相談課

1 事業等名	親子関係形成支援事業
2 事業概要	こどもとの関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者とそのこどもに対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、こどもの心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施します。また、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設けるなどにより、親子間における適切な関係性の構築を図ります。
3 事業費	当該年度決算額 263 千円

4.「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:人

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	10	10	10	10	10	
	②確保の内容	10	10	10	10	10	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	7 (70.0%)					
	実績評価	2					

5. 事業の取組状況

・参加世帯数が目標に到達しなかったものの、子育てに課題を抱える家庭に対する早期支援としての役割を果たすことで、こどもの行動への理解、保護者同士のつながり作り、関わり方の実践、という各段階において参加者の変化が見られ、虐待の未然防止、早期発見、早期対応につながりました。

○令和7年度 パARENTトレーニング実施世帯数
世帯数 7世帯

6. 事業評価と今後の見込

・参加世帯数の確保に向け、対象者層や対象年齢の拡大のほか、父親の参加や理解の促進に取り組みます。また、参加が期待される保護者に対して、日頃から寄り添った支援を行い信頼関係を構築した上で、保護者の課題や問題意識に応じて個別に勧奨を行うなど、周知の工夫を進めていきます。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	3				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

こども相談課

1 事業等名	児童育成支援拠点事業
2 事業概要	養育環境等に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない子ども等に対して、こどもの居場所となる場を開設し、子どもとその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行います。また、子どもとその家庭の状況をアセスメントし、関係機関へのつなぎを行う等、こどもの必要に応じた支援を包括的に提供します。
3 事業費	当該年度決算額 19,400 千円

4.「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:人

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	20	20	20	20	20	
	②確保の内容	20	20	20	20	20	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	10 (50.0%)					
	実績評価	2					

5. 事業の取組状況

・拠点が児童の放課後や長期休暇中の居場所となり、安心安全に過ごせる環境を提供するとともに、学習や生活習慣の形成を支援することができました。
 ・また、拠点職員が1人1人の児童と丁寧な関わりを続けたことで、情緒面に落ち着きが見られるようになりました。保護者とも送迎時等に拠点での児童の様子を共有し、相談に応じるなど寄り添った支援を提供することができました。

○令和7年度 安全安心な居場所の提供日数
159日

6. 事業評価と今後の見込

・量の見込みと確保の内容については、事業開始初年度でもあり、1人1人の児童に寄り添った丁寧な関わりを重視し、段階的に受入児童を増やしていく予定です。
 ・受入児童の増加に対応できるよう、拠点職員の人材確保を継続して行う必要があります。また、対象エリア以外の校区でも一定の利用ニーズが見込まれているため、今後も事業を継続しながら、課題解消に向けた取り組みを検討していきます。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	3				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

すくすく支援課

1 事業等名	妊婦等包括相談支援事業
2 事業概要	安心して出産や子育てができるよう、保健師等が妊産婦とその配偶者等に対して出産・育児の見通しを立てるためのアンケート・面談を実施します。利用できるサービスの情報提供や相談に応じるとともに、ニーズに応じて必要な支援につなげる伴走型の相談支援を行います。
3 事業費	当該年度決算額 441 千円

4. 「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:回

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	5,780	5,671	5,567	5,471	5,383	
実績	②確保の内容	5,780	5,671	5,567	5,471	5,383	(参考) 令和5年度 実績
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	実績値 (達成率)	5,527 (95.6%)					
実績評価		3					

5. 事業の取組状況

・妊娠届出時に全ての妊婦と来所またはオンラインで面談を実施し、妊娠中から相談に応じるとともに、出産やその後の育児の見通しをたてるための支援を行っています。
 ・妊娠7カ月頃にはショートメッセージでアンケートを送付し、希望者と妊娠8か月前後の面談を実施しています。希望に応じて沐浴体験や、松山市の母子保健サービスの情報提供を行っています。
 ・産後、こんにちは赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業)で生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、養育者の様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては継続支援や適切なサービス提供につなげています。

6. 事業評価と今後の見込

計画の量の見込みは令和5年度の実績をもとに、母子手帳交付件数を2,829件と設定し算出していましたが、計画策定時より少子化が進行し、令和7年度の母子手帳交付件数は2,748件でした。また、妊娠8か月前後の面談の希望者が見込み人数よりも少なかったことから、量の見込みに対する実績は95.6%となっています。
 妊娠届出時の面談、妊娠8か月前後の面談、産後のこんにちは赤ちゃん訪問を適切に実施し、安心して出産や子育てができるよう利用できるサービスの情報提供や相談に応じるとともに、ニーズに応じて必要な支援につなげる伴走型の相談支援を行いました。
 引き続き妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行っていきます。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	3				
委員評価					

「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート(令和7年度)

【地域子ども・子育て支援事業】

担当課

すくすく支援課

1 事業等名	産後ケア事業
2 事業概要	分娩施設退院後から一定の期間、医療機関や助産院、対象者の居宅で助産師等が中心となり、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援します。
3 事業費	当該年度決算額 13,467 千円

4.「量の見込みと確保方策」の計画値と実績

【市内全域】

単位:人日

計画		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	
	①量の見込み	358	352	345	339	334	
	②確保の内容	358	352	345	339	334	
	②-①	0	0	0	0	0	
実績		1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)	(参考) 令和5年度 実績
	実績値 (達成率)	660 (184.4%)					397
	実績評価	5					

5. 事業の取組状況

・本市の産後ケア事業は①心身の不調があるもの、②育児不安があるものを対象要件としていましたが、令和7年度からは訪問型のみ要件を撤廃し、産後ケアを必要とする方はどなたでも利用できるよう変更しました。また、訪問型は従来の窓口申請に加え、オンライン申請も開始しました。
・受け入れ施設の拡充に向け、産科・小児科医療機関や助産院への委託に加え、令和7年度からは民間委託も開始しました。

6. 事業評価と今後の見込

・利用実績は、宿泊型は延べ160人、通所型は延べ117人、訪問型は延べ383人が利用し、全体では延べ660人となりました。
・利用実績は年々増加しており、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう多くの方への支援ができました。特に、訪問型については、令和7年度から対象要件を撤廃し、オンライン申請を開始したことで、利便性の向上につながり、利用延人数は前年度の約3倍に増加しました。
・また、令和5年6月から産後ケア施設整備・設備設置事業補助金補助事業を開始し、受け入れ体制の整備を進めることで、受入数の確保にも努めています。
・今後も、委託施設拡充に向けて、県と連携しながら進めていきます。
・なお、量の見込みと実績との乖離が生じているため中間年度(令和9年度)に量の見込みの見直しを検討します。

7. 評価

	1年目 (令和7年度)	2年目 (令和8年度)	3年目 (令和9年度)	4年目 (令和10年度)	5年目 (令和11年度)
自己評価	4				
委員評価					